科　　目	必・選	担 当 教 員	学年・学科	単位数	授 業 形 態
現代アジア論 Current Issues of Asia	選	赤崎　雄一 重松　正史	２年生 メカトロニクス工学専攻 エコシステム工学専攻学科	**学修単位** 2	半期 週２時間

授業概要	アジア諸国の抱えるさまざまな社会・経済問題を、歴史的背景を重視しながら解説する
到達目標	１．国際的視野を持った技術者をめざし、日本とアジア諸国とのつながりから、宗教・多民族社会など異文化理解を深める。
評価方法	本科目の成績は、１回の小テスト（６０%）、自由研究の報告（３０%）、提出物（１０%）で評価する。100点満点中60点以上の評価で合格とする。
教科書等	プリントを配布

内　　容	（1回の自宅演習は２６０分を目処にする。）		学習・教育目標
第　１回	アジアと私たち	（自宅演習）	A
第　２回	近代日本のアジア進出－日本商品の販売－	（自宅演習）	A
第　３回	戦後、日本企業のアジア進出	（自宅演習）	A
第　４回	中国の経済	（自宅演習）	A
第　５回	日本とアジアの文化的社会的関係（1）	（自宅演習）	A
第　６回	日本とアジアの文化的社会的関係（2）	（自宅演習）	A
第　７回	上海史	（自宅演習）	A
第　８回	学生による報告（1）	（自宅演習）	A
第　９回	学生による報告（2）	（自宅演習）	A
第１０回	消費市場としてのアジア	（自宅演習）	A
第１１回	マレーシア・シンガポールの政治・経済と観光	（自宅演習）	A
第１２回	インドネシアの政治と経済	（自宅演習）	A
第１３回	東南アジアの宗教事情	（自宅演習）	A
第１４回	NIES の政治と経済-韓国と台湾	（自宅演習）	A
第１５回	全体のまとめ	（自宅演習）	A

(特記事項)

JABEEとの関連

JABEE	a	b	c	d1	d2a) d)	d2b) c)	e	f	g	h	i
本校の学習・教育目標	A	A	C-1	C-1	C-2	B	B	D	C-3	B	B
	◎										

1．合格ラインについて，特に記載の無いものは，６０点以上を合格とします。

現代アジア論ガイダンス

事前学習
　「アジアに関するニュースには日頃から関心を持っていること」
事後学習
　「授業のノートを読み直し、専門用語の意味を確認しておくこと」

「現代アジア論」では大きく３部に分かれて構成しています。

第１部　「アジアと日本」

第１回　～　第３回
　アジアと日本との間に歴史的問題は避けて通れない問題です。アジアと日本との溝を作る近現代史の問題を簡単に整理します。続いて、日本発の多国籍企業は全世界で活動し、安価なアジア製品が日本に流入しています。アジアと日本の経済的関係は深まる一方です。特に日本企業のアジア進出に注目し、その歴史的経過について学びます。

第２部　　アジア諸国の政治・経済・文化
　アジア地域で日本企業・日本人が受け入れられるにはその国の歴史・文化を理解する必要があります。「東アジア」、「東南アジア」の２地域に分け、それぞれの地域への理解を深めます。

第４回　～　第７回、10回　「東アジア」
　中国、韓国、台湾の政治・経済状況に注目し、この３カ国の急激な経済発展の要因を探る

第10回　～　第14回　「東南アジア」
　現代東南アジア世界に重大な影響を与える植民地化の問題にも注目しながら、この地域の経済発展を考える。一つの例としてインドネシアに注目し、この国の政治、豊かな文化に触れる。
　また、イスラーム社会は日本人に理解されにくい社会といわれる。この地域の文化と日本人との摩擦に触れながら、異文化を尊重する必要性を学ぶ

第３部　　学生による報告
第８・９回　　学生による報告
　アジアに関して学生自らが調べ、パワーポイントを使用し報告する。お互いに質問しあうことにより、より深い理解を目指す。